

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

# La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

Fondita en 1951 N-ro 862 decembro 2022

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ  
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO  
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,  
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU  
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyô, Naruto-si,  
Tokusima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

## ENHAVO

2023年の関西エスペラント大会.....	1-2
第3回 Vintra Lernejoのお知らせ.....	2
楽しい作文教室(136).....	塚本 猛 3
やさしい本の紹介(4).....	編集部 4
Kajero Libervola: Pri "YahooĈiebukuro".....	
.....AIKAWA Setuko	5
対訳: 源氏物語 第45帖 橋姫(10).....	紫式部/belmonto 6-7
書評: Zamenhof's Yiddish Grammar and His Universal Language: Two Projects in Ashkenazi Culture.....	渡辺 克義 8
日本昔話(20): Donacoj de Ĉielo kaj de Tero 天福地福.....	島谷 剛 9
楽譜: Bonan Nokton おやすみ(「冬の旅」より).....	
.....Kelonio	10
La Movado: ワン・ワールド・フェス、ほか.....	11
Vortkruca enigmo/ 作文教室成績.....	12
Kultura heredajo: 金槐和歌集より.....	12
Mikspoto / 作文教室課題 / Kurantaj Vortoj.....	13
KLEG事務局だより.....	13
Indekso de La Movado 2022 年間索引.....	14-15
編集ノート.....	16

## 2023年の関西エスペラント大会は

### 改修を終えた姫路城のほとり

来年6月3日(土)4日(日)の第71回関西エスペラント大会は、9年ぶりに姫路城のすぐ近くにある「イーグレひめじ」で開催されます。前回は姫路城が改修工事中でしたが、現在は「白鷺城」と謳われたその優美な姿を見せています。別料金になりますが、大会前遠足でガイドの説明を聞きながら城内を散策してはいかがでしょうか。

公開講演は能楽師の江崎欽次朗さんをお願いしています。師は姫路藩お抱え能役者の家柄で、ワキ方として舞台を勤めるほか、能の楽しさを広め後世に伝える活動もなさっています。能楽は演目の内容や背景について少しでも知っていれば楽しめる、他の

### 第71回関西エスペラント大会実行委員会

事でも同様との考えからか、初対面の挨拶をエスペラントでされた江崎さんのお話は、能楽以外の雑学や裏話まで盛りだくさんです。「姫路」を姫路市だけでなく高砂市辺りまで広く考え高砂染めの狂言衣装を復元されたり、アクリエひめじ文化講座で能の紹介もされています。また横浜流星主演の映画「ヴェレージ」で「薪能」の場面に出演されるそうです。結婚式で謡われるめでたい謡曲「高砂」は、阿蘇の宮司が京に上る途中で高砂の浦を訪れ、松の木の化身である老人夫婦と出会い、「相生の松」のいわれを聞いて大阪住之江へと船出するところで始まりませう。いろいろ知ると身近に感じるのではないでしょ

### 第94回九州エスペラント大会

11月27日(日) オンライン開催。

申込: 福岡エスペラント会(振替)01730-7-90788

メール: mtmt@mx1.harmonix.ne.jp

または電話: 092-924-8051

### 第21回中国・四国エスペラント大会

11月27日~12月18日の毎日曜日4日間、  
20時~21時のオンライン開催。

詳しくは:

[http://koki.o.oo7.jp/21\\_a\\_Kongreso.htm](http://koki.o.oo7.jp/21_a_Kongreso.htm)

うか。

バンド演奏「なんちゃんず」で担当するのは「はりまエスペラント会」の中村雅子さんです。結成14年のバンドで、メンバーは、なんちゃん（ボーカル・ギター）、あおちゃん（フラットマンドリン）、まあの（バイオリン・コーラス）の3人。おもに、アイルランドやアメリカの古い曲を日本語の歌詞で歌って演奏しますが、今回は歌詞の一部をエスペラントでチャレンジします。

分科会や Gaja Vespero の参加者を募集中です。参加申込みは kek71a@gmail.com へお願いします。



## 第3回 Vintra Lernejoのお知らせ

2023年3月に神戸で

関西エスペラント連盟

2009年・2019年に実施された Vintra Lernejo の第3回を企画しています。新型コロナ流行のため開催できなかった Friska Lernejo（林間学校）に代わる合宿です。会場は温泉付き施設で、宴会（参加自由）の計画もしています。参加費など詳しいことは別紙 informilo をご参照ください。

日 時: 3月25日(土)13:00~26日(日)12:00

会 場: しあわせの村（神戸市北区）

### 1. 授業等の案内

・輪読会 Hoodjooki 方丈記 野原休一訳

災害の多発に加え、コロナ禍と経済低迷により先行きの見えない現代は、八百年前の「方丈記」の時代と重なります。Hoodjooki de Kamo no Tjoomei trad. Nohara Kiuiči (原文付 400円) を事前にご用意ください。5名以上の参加をもって実施いたします。参加者確定後に章段の担当分けをします。担当箇所のエスペラント文と原文についてそれぞれが感想、学びや気づきを発表する形式です。

・作文クラス 講師 森川和徳

La Revuo Orienta 誌「やさしい作文」欄をベースにした課題文を提示しますので、エスペラント文に作文していただきます。作文はその場で添削し、間違いやすい点や注意すべき点を説明します。

・声を出すクラス 講師 木元靖浩

人前に立ちエスペラントで発声する機会を設けるクラスです。マイクやプロジェクターを準備します。この機会に自宅で練習して臨んでください  
2022.12

い。例えば、プレゼンテーション。自分のふるさとの紹介など。または、お気に入りの本の朗読、先日の第70回関西大会記念品のCD “Ĵunko kantas esperante” をカラオケで歌う。等々。

・文法クラス 講師 田熊健二

前置詞付き関係代名詞を含む文を日本語に訳すとき、まず関係節を訳してそれをその前の名詞（先行詞）の修飾節とする訳しかたが通常の訳しかたです（仮に直訳と呼ぶ）が、関係節を直訳すると、うまく訳せない、別の意味になることがしばしば起こります。なぜこのようなことが起こるのか、例文を示してその原因を考えたいと思います。また、直訳ではうまく訳せない関係節を含む文をまともな日本語に訳すにはどうすればいいか、いくつかの文献がありますので、それを紹介します。

・エスペラント運動の意見交換 座長 木元靖浩

エスペラント展示において前を通る人と対話をしても、エスペラントという単語を知っている人さえ稀です。このような場所で、ザメンホフがエスペラントを創作した動機について説明しても、プラハ宣言について説明しても、人々の心の琴線に触れることは難しいでしょう。我々の「良きもの、エスペラント」を世間に知ってもらう方法・考え方、その他もろもろの情報交換を行います。

### 2. 参加方法など

宴会場の最少人数や、会場費がかかる関係上、10名以上の参加をもって開催いたします。

参加申込は別紙 informilo の申込書の書式に従って12月末までに申し込みください。開催可否は1月末までにお知らせします。

※しあわせの村サイト: <https://shiwasesenomura.org/>



①広くて安い大会会場はなかなか見つからない。

【訳例1】 Trovi kongresejon, vastan kaj malkaran, estas malfacile. (Ivajo)

【訳例2】 Vasta kaj malkara kongresejo estas malfacile trovebla. (Lumo)

【訳例3】 Estas malfacile trovi malmultekostan kaj sufiĉe grandan kongresejon. (josie)

「広い」は vasta、「安い」は malkara、「大会会場」は kongresejo が使えます。「なかなか」は否定の語を伴い簡単にはゆかないさまを表します。malfacila (むずかしい) が使えるでしょう。

訳例1は trovi estas malfacile (見つけるのはむずかしい) と表現しています。訳例2は malfacile trovebla と -ebl- (～可能な) を使っています。この接尾辞 -ebl- は受動的な可能性を示しますので「見つけられにくい、なかなか見つからない」という意味になります。訳例3の granda は規模が大きいという意味ですが、「十分に大きな大会会場」ならたぶん広いのだろうと想像できます。

②前回と同じ会場を予約してはという提案が出た。

【訳例1】 Iu proponis rezervi la kongresejon saman kiel en la antaŭa fojo. (Lumo)

【訳例2】 Oni proponis, ke ni rezervu la kongresejon, kie okazis la lasta kongreso. (Ivajo)

【訳例3】 Propono estis farita por rezervi la saman ejon kiel la lastan fojon. (Drako) 〓 解説

「前回」は antaŭa (前の)、「予約する」は rezervi ion (予約する)、「提案」は propono (申し出) が使えるでしょう。

訳例1は「前回」に antaŭa (以前の) を使っていますが訳例2、訳例3は lasta (最近の) を使っています。大会を持ち回りで開催していると考えた場合は antaŭa で、直前の大会と同じ会場にするのならば lasta のような感じがします。

訳例1、訳例2は iu や oni を主語にした能動文ですが、訳例3は propono を主語にした受動文です。受動文のせいかな個人的には「最近のと同じ会場を予約するとの提案がなされた」で判断を迫られている感じがします。Google 翻訳だと propono で

はなく sugesto (示唆、仮定としての提案) を使っているので「予約しては」の感じが出ると思います。

③交渉はいるが大会会場はなんとかなるだろう。

【訳例1】 Oni devos trakti kondiĉojn, sed iel povos rezervi la kongresejon. (josie)

【訳例2】 Ni iel povos rezervi kongresejon, mi kredas, kvankam necesas traktado kun ili. (Lumo)

【訳例3】 Ni bezonas traktadon, sed iel rezervo de kongresejo bone iros. (Jasuko)

「交渉する」は trakti kun iu ion (交渉する) や名詞の traktado や intertraktado、「なんとか」には iel (なんとかして) が使えるでしょう。

「なんとかなる」は好ましい状態になるという意味で、この場合は予約できる、会場を使えるようになるという意味です。訳例3のように iri bone (うまく行く) を使うことも考えられます。他の訳例にあった administri ion (管理する) や decidi ion (決める) は少し違うと思います。

訳例2は kvankam (～けれども) を使った例です。kvankam 節の「交渉が必要」という事項は、主節で示す「予約する」ことの妨げではあるが、完全に妨げるわけではないという表現になります。

④大会テーマとシンボルマークの提案もあった。

【訳例1】 Kongresaj temo kaj emblemo estis ankaŭ proponitaj. (CA)

【訳例2】 Aliaj proponis la temon kaj emblemon de la kongreso. (綴り修正 ;josie)

【訳例3】 Fari temon de la kongreso kaj ĝian simbolon ankaŭ estis proponita. (Lumo) 〓 解説

「テーマ」は temo、シンボルマーク (和製英語) は simbolo や emblemo で表現できるでしょう。

訳例1は「大会のテーマとシンボルマーク」の提示もされたと、形容詞と名詞の数の一致も考えに入れて表現しています。訳例2は主語に aliaj (他の人達) を使い、他の人達は大会テーマとシンボルマークを提案したとしています。

訳例3は「大会テーマ」や「そのシンボルマーク」を作るという提案もあったという表現です。会場も未定だし、テーマなどもこれから考えるという解釈でしょう。細かい点ですが最後の proponita は主語が動詞なので proponite だと思います。

成績は p.12、新しい課題は p.13



## やさしい本の紹介(4)

編集部

前回(9月号)の繰り返しになりますが、どの本がやさしいかはひとりひとり違います。ここでは一応の目安として紹介します。本を買う時やグループ学習の教材を選ぶ時の参考になれば幸いです。

### Bonvenon en nia mondo

著者はデンマークの人で、チェコで出版された本です。題名の nia mondo とは、「エスペラント界」のことです。

世界大会や世界青年大会のこと、ボランティア民泊網 Pasporta Servo のこと、フランスのレジオン城やオーストリアのエスペラント博物館のこと、エスペラント版ウィキペディアのことなどなど、エスペラント活動に関するいろいろな話題が語られます。

ひとつひとつの項目が数ページ以内に収まっているので、目次をざっと見て関心のあるページから開けて読むという使い方ができます。エスペラント界に足を踏み入れた新人に向けて書かれた内容なので、文章は難しくありません。

写真が豊富に使われているので、内容が理解しやすく、気軽に読めます。活字が小さめなのが、高齢者にとっては残念ですが。

また、それぞれの項目の最後には5つ前後の質問が書かれていますので、例会の教材に使う場合には、指導者が生徒に質問して答えさせるようになっています。著者は初心者・中級者のための講習教材という使用目的も考えておられたのでしょう。

### Fabeloj el Budhisma Literaturo

原著者渡邊愛子さんがお経の中のエピソードを素材に子ども向けに再話した「仏典童話」を、山口真一さんがエスペラント訳したものです。初心者用というわけではありませんが、童話ですから文章は難

しくありません。解釈が難しいものも混じってはいますが、ほとんどがわかりやすいお話です。二千年以上前に書かれたとは思えないような、心にひびく童話を読むことができます。キリスト教の聖書にあるエピソードと似たお話もあれば、障がい者に対する見方がキリスト教と仏教では違うようだな、と思わせる話もあります。でも、そこまで考えず、一般的な童話として楽しむのもいいでしょう。

畠中光享さんによる原作の挿絵がエスペラント版にも使われていて、表紙も中身も美しい本です。

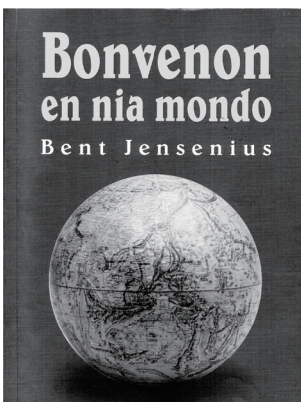
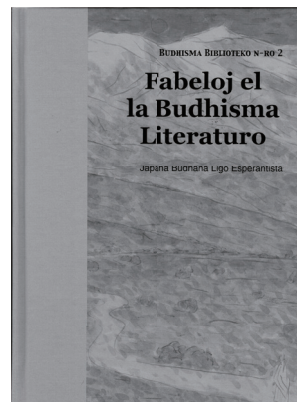
### エスペラント会話教室

基本的なあいさつや自己紹介、さまざまな状況での会話、分類単語集など、すぐ役立つ内容が詰まっている本です。

エスペラントに限らず、本を評価する目安のひとつに「版を重ねている」という条件があります。何度も版を改めている本というのは、それだけ読者に支持されていると考えられます。読者人口が限られているエスペラント界で第2版、第3版を出すのは、そう簡単なことではないはずですよ。

この本は、竹内義一さんが1971年に初版を著わし、その後第3版まで出たあと、1999年に全面的に書きなおした「新版」が発行されました。竹内さんは2005年に亡くなりましたが、タニヒロユキさんがさらに手を入れ、新しい章もくわえた「新訂版」が2007年に世に出ました。そのタニさんも故人となりましたが…。

どの版も、その時代の新しい事物を積極的に取り入れて、それをエスペラントでどう表現するかを教えてください。



## Pri "Yahoo Ĉiebukuro"

AIKAWA Setuko (Kioto)

En interreto troviĝas paĝaro nomata "Yahoo Ĉiebukuro". Ĉiebukuro, japanlingva vorto, signifas "sako de saĝo". En la paĝaro oni libere demandas pri ia ajn temo. Ekzemple iu demandas montrante foton de verda vermo, "Kio estas tio?" Alia persono, tute nekonata, respondas, "ĝi estas larvo de hirundovosta papilio, eble *Graphium sarpedon* (アオスジアゲハ), se ĝi troviĝis sur folio de kamfor-arbo". Se iu demandas pri sia malsano, konsiloj venas unu post alia, kaj de laikoj kaj de medicinistoj.

Mi vizitas la paĝaron serĉante demandojn pri Esperanto, kiam mi volas iel distri min. Jen unu el la demandoj, al kiuj mi respondis:

"Kiel oni povas eklerni Esperanton de ABC? Ĉu ekzistas libroj por enkonduko?"

Jen interesato pri nia lingvo! Mi tuj respondis al la demando menciante tri manierojn.

"La unua maniero estas lerni en koresponda kurso. Esperanto-Societo en Numazu donas kurson, en kiu la gvidanto tre zorgeme instruas Esperanton. La dua maniero estas lerni per libro por aŭtodidaktoj. Se vi estas amanto de lingvolernado, 'New Express Esperanto' estas rekomendinda. Se vi ne tre amas lerni fremdan lingvon, mi rekomendas 'Hazimete-no-Esperanto (Elementa Lernolibro de Esperanto)'. La tria maniero estas partopreni en kurso de loka Esperanto-Societo. En multaj urboj troviĝas societo de Esperanto, kiu regule okazigas enkondukan kurson. Serĉu societon en interreto proksiman al via loĝejo."

Kompreneble mi aldonis necesajn ligilojn: ligilon al Esperanto-Societo en Numazu, libro-katalogo de Kansaja Ligo de Esperanto-Grupoj.

Bedaŭrinde mi ne scias, ĉu mia respondo utilis al la demandinto. En "Ĉiebukuro" la

demandinto povas reakcii al la respondinto, ekzemple plu demandi aŭ danki, sed tiam li aŭ ŝi ne tiel reakciis.

La demandinto rajtas elekti la plej plaĉan aŭ plej utilan respondon, kaj la elektado sciigas, ke la demandinto legis la respondon. Mia respondo estis almenaŭ legita far la demandinto, ĉar ĝi estis prenita kiel la plej bona.

La demandoj en la paĝaro ne ĉiam estas tiel seriozaj kaj lernemaj. Mi montras alian ekzemplon:

"Kiam mi estis infano, mi aŭdis, ke la lingvo en la mondo fariĝos nur Esperanto. Sed mi ankoraŭ parolas la japanan lingvon. Kio estis la tiama onidiro pri Esperanto?"

Grava miskompreno! Mi respondis jene:

"La iniciatinto de Esperanto neniam celis, ke ĝi estu la monda lingvo. Ĉiu persono uzis sian denaskan lingvon, kaj Esperanto estu la dua lingvo por iu ajn. Nur en komuniko inter personoj malsamlingvaj oni uzis Esperanton, li deziris. Fortaj kaj potencaj ne altrudu sian lingvon al malfortaj. Tio estas la ideo de Esperanto. Tio, ke lingvo en la mondo fariĝos Esperanto, estas eraro."

Al tiu demando respondis tri personoj (pli ĝuste tri kontoj, ĉar unu persono povas havi plurajn kontojn) inkluzive min.

Unu diris, ke Esperanto povas esti komuna lingvo nur por eŭropanoj. Fantazie estas, ke Esperanto fariĝos monda lingvo. Homoj, kiuj ne apartenas al hind-eŭropa lingvaro, devas lerni Esperanton de ABC same kiel la anglan lingvon, do la angla estas preferinda.

Alia skribis, ke la plimulto de esperantistoj opinias, ke ĝi estu la dua lingvo. Kaj en interreto troviĝas certa nombro da Esperanto-parolantoj.

La demandinto, ricevinte tri respondojn, lasis sian demandon sen ia reakcio. Verŝajne li aŭ ŝi ne serioze demandis, sed nur mokis Esperanton.

## 45 La Nimfo de la Ponto – Fasi Fime – (10)

源氏物語 第45帖 橋姫 はしひめ

*eljapanigis belmonto*

Tial nur komprenu, ke ekzistis tia maljunulino en la mondo. Al miaj oreloj atingis la informo, ke mortis *Koĵĵu*, servanta en la palaco de *Sandeŭ*\*<sup>1</sup>. Same multaj el miaj tiamaj intimuloj forpasis. En mia maljuna tago, apoge al la parencoj, mi venis al la Urbo de la tre malproksima lando *Kiŭŝuo*, kaj servis ĉi tie jam dum kvin aŭ ses jaroj. Kredeble vi ne scias pri la persono nomata Denta Kverko, forpasinta en la posteno Estro de la Gvardio\*<sup>2</sup>, kies pli juna frato estas nun nomata la *Dajnaĝono Toŭ Ruĝa Mumeo*. Estos ŝanco aŭdi pri la antaŭa en iu okazo. Mi sentas, ke ankoraŭ ne tre longa tempo pasis de lia forpaso. Tiama malĝojo ŝajnas ankoraŭ resti, malsekigante miajn manikojn. Se kalkuli jarojn per fingroj, estas kvazaŭ songo, ke vi plenkreskis dum la jaroj. La mamnutristino de la Provizora *Dajnaĝono* estis la patrino de mi, *Ben*. Ankaŭ mi kutime servis ĉe li matene kaj vespere, kompreneble ne kalkulite en la nombro. Li ofte eldiris sekretan superfluaĵon el la koro, ne konate de aliuloj, kaj kiam li finos sian vivon sur la lito, li alvokis min kaj testamentis, kio estas transdoninda al vi. Mi atendas vian komprenon de mia ĝisnuna rakontado. Se vi deziras aŭskulti la daŭrigon, mi konfesos ĉion en liberigita koro. Sed ho, nun klare estas, ke la junaj ĉambelaninoj tuŝetas unu al aliaj, malamete kaptante min enŝovanto kaj troparolanto.”

Tiel ŝi ĉesis sian paroladon.

### 13. Kavoru tenis suspekton

*Kavoru* strange prenis la historion kvazaŭ songorakonto aŭ sendemanda parolo de aŭguristino, sed ĉar ŝi parolis pri la afero kiun  
2022.12

さらば、ただ、かかる古者（ふるもの）世にはべりけりとばかり知るしめされはべらなむ。三条宮にはべりし小侍従（こじじゅう）はかなくなりはべりにけるとほの聞きはべりし。その昔（かみ）睦まじう思うたまへし同じほどの人多く亡せはべりにける世の末に、遙かなる世界より伝はり参うて来て、この五六年（いつとせむとせ）のほどなむ、これにかくさぶらひはべる。知ろしめさじかし、このごろ藤（とう）大納言と申すなる御兄（このかみ）の右衛門督にて隠れたまひにしは。もののついでなどにや、かの御上（うへ）とて聞こしめし伝ふることもはべらむ。過ぎたまひていくばくも隔たらぬ心地のみしはべる。そのをりの悲しさも、まだ袖のかわくをりはべらず思うたまへらるるを、手を折りて数へはべれば、かく大人（おとな）しくならせたまひにける御齡（よはひ）のほども夢のやうになん。かの権大納言の御乳母（めのと）にはべりしは、弁が母になむはべりし。朝夕（あさゆふ）に仕うまつり馴れはべりしに、人数（ひとかず）にもはべらぬ身なれど、人に知らせず、御心よりはた余りけることををりをりうちかすめたまひしを、今は限りになりたまひにし御病（やまひ）の末つ方に召し寄せて、いささかのたまひおくことなむはべりしを、聞こしめすべきゆゑなん一事（ひとこと）はべれど、かばかり聞こえ出ではべるに、残りを、と思しめす御心はべらば、のどかになん聞こしめしはてはべるべき。若き人々もかたはらいたく、さし過ぎたりとつきしろひはべめるもことわりになむ」

とて、さすがにうち出でずなりぬ。

13

あやしく、夢語（ゆめがたり）、巫女（かむなぎ）やうのもの間はず語りすらむやうにめづらかに思さるれど、あはれにおぼつかなく思しわたる事の筋を

li deziras detale ekscii, li do volis plu aŭskulti. Sed li pensis: 'nun aŭskultas multaj homoj, kaj sendelikate estos al la princinoj tranokti en tiu subita neeleganta rakonto de la pasinta tempo.' Li diris:

"Neniu ideo trafis min. Malĝoje estas aŭskulti malnovan rakonton. Do, nepre rakontu la daŭrigon al mi. Se malaperos la nebulo baldaŭ, mia deformita figuro montriĝos malbele, riproĉota je ekrigardo de la princinoj. Mi volas resti pli longe, sed bedaŭrinde ne povos."

Kiam *Kavoru* ekstaris, apenaŭ aŭdeble eksonis la sonorilo de la fora templo, kie nun servas la Princo, kaj la nebulo ankoraŭ tre dense kovris la ĉirkaŭon.

#### 14. *Kavoru interŝanĝas utaojn*

La montopinto estis kovrita de multoblaj nuboj\*<sup>3</sup> kaj pike estis sentita la distanco de la Princo. Li ankaŭ supozis internon de la koroj de la princinoj. 'Kian triston ili konservas? Kompreneble estas ne kontakti kun aliaj homoj'. Li utais:

"Baldaŭ venos la mateno  
Nun tutkovras la nebulo  
En la Mont' *Vojama* perdas  
Mi la vojon al la hejmo

Maltrankvile soleca estas mi."

Li staris tie forironte, kies figuron rigardis speciale fajna eĉ homoj kun bona aprezipablo en la Urbo, kaj kiel ne pli supere vidos la ĉambelaninoj en ĉi tiu vilao?

(daŭrigota)

\*1 = la palaco de la Tria Princino, la patrino de *Kavoru*.

\*2 Li promociiĝis al la Provizora *Dajnaĝono* tuj antaŭ sia morto.

\*3 cito el la utao en la utaaro "*Kokin*".

聞こゆれば、いと奥ゆかしけれど、げに人目もしげし、さしぐみに、古物語（ふるものがたり）にかかづらひて夜を明かしはてむも、こちごちしかるべければ、

「そこはかと思ひわくことはなきものから、いにしへの事と聞きはべるも、ものあはれになん。さらば必ずこの残り聞かせたまへ。霧晴れゆかばはしたなかるべきやつれを、面（おも）なく御覧じとがめられぬべきさまなれば。思うたまふる心のほどよりは、口惜しうなむ」

とて立ちたまふに、かのおはします寺の鐘の声、かすかに聞こえて、霧いと深くたちわたれり。

14

峰の八重雲思ひやる隔て多くあはれなるに、なほこの姫君たちの御心の中ども心苦しう、何ごとを思し残すらむ、かくいと奥まりたまへるもことわりぞかしなどおぼゆ。

「あさぼらけ  
家路も見えずたづねこし  
檜（まき）の尾山は  
霧こめてけり

心細くもはべるかな」

と、たち返りやすらひたまへるさまを、都の人の目馴れたるだになほいとことに思ひきこえたるを、まいていかがはめづらしう見ざらん。

(続く)



## Zamenhof's Yiddish Grammar and His Universal Language: Two Projects in Ashkenazi Culture

Christer Oscar Kiselman 著  
KAVA-PECH, Dobřichovice, 2022

渡辺 克義 (新潟県)

評者がエスペラントの存在を知ったのは、中学3年時の国語の教科書<sup>\*1</sup>に載っていた、伊東三郎(本名、宮崎巖)「エスペラントの父 ザメンホフ」を通してであった。1878年12月5日夕刻、ザメンホフと学友は出来たばかりの人工世界語で諸民族の和解・融合を訴える歌を歌ったという。

ここでいう「人工世界語」とは、Lingwe uniwersala のことである。いわゆる「第一書」が刊行されるのは1887年7月26日である。1887年に発表されたこの言語(Lingvo internacia)は、後に著者の筆名を以って知られるようになったことは周知のとおりである。Lingwe uniwersala から Lingvo internacia までの期間はわずか8年半なのに、両言語の隔たりは以下に示すように極めて大きい。

1878年12月5日に歌われた歌は次のとおり。

Malamikete de las nacjes / Kadó, kadó, jam temp' está! / La tot' homoze in familje / Konunigare so debá.

(諸民族の間の憎しみの壁よ、/ 倒れよ、倒れよ、時は来た。/ 全人類は一つ家族に、/

みんないっしょにならねばならぬ。〔伊東三郎訳〕)

(Malamikeco de la nacioj / Falu, falu, jam temp' estas! / La tuta homaro en familion / Kununuigi sin devas. [esperantigis Gaston Waringhien])

ザメンホフがほぼ同時期、イディッシュ語<sup>\*2</sup>文法の編纂にも心血を注いでいたことは無視してはならない。ザメンホフがこの作業に取り組んだのは、ユダヤ民族の間でこうした書の必要性・重要性が叫ばれながら、未刊だったからである。ザメンホフは1880年頃脱稿したらしいが、確かなことはわかっていない。同書が単行本になるのは1世紀以上も後の1982年であった<sup>\*3</sup>。

本書 Zamenhof's Yiddish Grammar...<sup>\*4</sup> は、ザメンホフのイディッシュ語文法(1880年頃)と、2022.12

第1案(Lingwe uniwersala, 1878年)、第2案(Lingvo uniwersala, 1881年)、第3案(Ла Mondo Линго = La Mondo Lingo, 1886年)、第4案(Lingvo internacia = Esperanto, 1887年)の相違点を分析し、イディッシュ語が Lingvo uniwersala に与えた影響は、イディッシュ語が Lingvo internacia = Esperanto に与えた影響よりも大きかった、と結論付けている。

著者<sup>\*5</sup>の主張は、母音の長短の違いが意味の峻別に働くこと(イディッシュ語と Lingvo uniwersala に共通。エスペラントではそうではない)、イディッシュ語(ラテン字母に転写表記した場合)とエスペラントでは文字体系が同じであること(üを除く)、前置詞と冠詞の融合形があること(イディッシュ語と Lingvo uniwersala について。エスペラントは該当しない)、Lingvo uniwersala ではイディッシュ語からの語彙の借用が見られること、などを根拠にしている。

本書では、少数のデータから一般論を導いている場合が少なからずあり、やや大雑把な印象は払拭できない。借用がドイツ語からなのかイディッシュ語からなのかを特定することは多くの場合容易でない。「Lingvo uniwersala ではイディッシュ語からの借用が見られる(エスペラントではそうではない)」という主張については、もっと慎重になってもよかつたのではなからうか。

エスペラントでは語尾に文法的機能が含まれている。第1案ではその点が緩く、中国語文法などを想起させる(例えば、未来を表す、エスペラントの -os に相当する語尾が Lingwe uniwersala にはない)。ところが、第2案では、語尾の文法機能はエスペラント並みにリジッドになる(Lingvo uniwersala には、未来を表すマーカーである、-uj が存在する)。第3案では再び、語尾の文法機能は緩くなる(未来を表す語尾は、La Mondo Lingo にはない)。第4案では第2案に立ち返るかのよう、同程度の複雑さがある。これらは何を意味するのであろうか。今後十分な検証が必要になるだろうが、ザメンホフが国際補助語を創案するにあたり、試行錯誤を繰り返していたことの証左とみてよいのではなからうか。

注1.『新版 標準中学国語三』(教育出版、1971年)

注2. 中・東欧のユダヤ系民族の人々によって用いられている(用いられていた)、ドイツ語をベースにした言語

↑



## Donacoj de Ĉielo kaj de Tero

rerakontis SIMATANI Takesi

Iam kaj ie antaŭ multaj jaroj vivis Bona Avo kaj Malbona Avo. Antaŭ la fino de iu jaro ili renkontis sin survoje. La Bona proponis. “En la nova jaro ni diru unu al la alia, kian sonĝon ni vidis en la unua nokto\*.” La Malbona konsentis. “Tre bone. Ni sciigu unu al la alia pri la unua sonĝo de la jaro.”

La trian de januaro ili denove renkontis sin survoje. Malbona Avo demandis. “Ĉu vi vidis sonĝon hieraŭ nokte?” Bona Avo respondis. “Jes, mi vidis!” “Kian sonĝon?” “Mi ricevos Donacon de Ĉielo.” Malbona Avo replikis. “Mi ja ricevos Donacon de Tero.”


Post kelkaj tagoj kiam Bona Avo fosis sulkon en sia ĝardeno, lia fosilo batiĝis al ŝtono. Li formovis la ŝtonon kaj el sub ĝi aperis potoj. En la potoj estis multe da oraj moneroj. Bona Avo pensis. “Tio aperis de tero kaj ne estas mia propraĵo.” Li iris al la Malbona Avo kaj diris al li, ke aperis lia Donaco de Tero.

Ĝoje Malbona Avo iris al la ĝardeno kaj elfosis la potojn. Kiam li malfermis la kovrilon, aperis tamen ne oraj moneroj, sed malbelaj serpentoj. Malbona Avo kredis, ke lin trompis Bona Avo. Kun la potoj li iris al la domo de Bona Avo. Li grimpis sur la tegmenton, malfermis la lukon kaj tra ĝi enĵetis en la domon tutan enhavon de la potoj.

Bona Avo ripozis ĉe sia forno. Subite de supre falis oraj moneroj. “Ha, ankaŭ mi ricevis la Donacon de Ĉielo!” Ĝojis Bona Avo.

\*la unua sonĝo de jaro: Japanoj vidas la unua de jaro tiun sonĝon, kiun oni sonĝas dum la nokto inter la 2a kaj la 3a de januaro.

## 天福地福 (てんぶくちぶく)

島谷 剛 再話 

昔々あるところに正直なおじいさんと、意地悪なおじいさんがいました。ある年の年末に、正直なおじいさんは意地悪なおじいさんに道で出会うと「お正月になったら、最初の夜に見た夢\*を教えあおうよ」と提案しました。意地悪なおじいさんも「よかろう、新年最初の夢を教えあおう」と同意しました。

正月三日に二人は、また道で出会いました。「昨晩は夢を見たかい」「ああ、見た見た」「どんな夢を見た?」「私は天から福を授かる夢を見たよ」と正直なおじいさんは言いました。意地悪なおじいさんは「おれは地から福を授かる夢を見たぞ」と言いました。

何日かあとで、正直なおじいさんが畑を耕していると、鍬の先が石にぶつかりました。石をどけてみると、その下に瓶(かめ)があり、その中には小判がたくさん入っていました。正直なおじいさんは「地から出ただけだから、これは私の福じゃない」と考えたので、意地悪なおじいさんのところへ行き、「お前さんの地福が出たよ」と教えました。

意地悪なおじいさんは喜んで畑へ行き、瓶を掘り出しました。ところが瓶のふたを開けてみると、中には小判どころか蛇(へび)がウヨウヨと入っていました。意地悪なおじいさんは、だまされたと思って腹を立てました。正直なおじいさんの家に瓶を持って行き、屋根に登ると、天窓から中身をぶちまけました。

正直なおじいさんが炉端でくつろいでいると、突然上から小判が降ってきました。「おや、うちにも天福が授かったよ」とおじいさんは喜びました。

\*初夢: 日本では正月2日と3日の間の夜に見る夢を初夢とします。

注 3. L. Zamenhof, Provo de gramatiko de novjuda lingvo kaj alvoko al la juda intelektularo, Helsinki: Fondumo Esperanto, 1982.

注 4. 副題にある Ashkenazi とは、中・東欧のユダヤ人

系民族を指す

注 5. Kiselman は 1939 年スウェーデン生まれの数学者・エスペランティスト。1989 - 2015 年、Akademio de Esperanto 会員

## Bonan Nokton ( *el Vintra Vojaĝo* 冬の旅1おやすみ )

poez. Wilhelm Müller, muz. Franz Schubert, trad. Kelonio



*J* = 60

1) Frem - du - le mi al - ve - nis, frem - du - le i - ras for. En  
 2) Ne po - vas mi e - lek - ti la tem - pon de l' vo - jaĝ'. La  
 ma - jo ĉi - u be - nis min var - me kun fa - vor'. Kna -  
 vo - jo min di - rek - ti nun nig - ras en pej - zaĝ'. Min  
 bin' a - lu - dis a - mon, pa - tri - no pri ed - ziĝ'. Kna - bin' a - lu - dis  
 sek - vas om - bro lu - na, fi - de - la voj - ku - nul'. Min sek - vas om - bro  
 a - mon, pa - tri - no pri ed - ziĝ'. Nun  
 lu - na, fi - de - la voj - ku - nul'. Tra  
 per - dis mond' e - la - non, la vo - jon kov - ras neĝ'. Nun  
 blan - ka ne - ĝo du - na min gvi - das bes - ta spur'. Tra  
 per - dis mond' e - la - non, la vo - jon kov - ras neĝ'.  
 blan - ka ne - ĝo du - na min gvi - das bes - ta spur'.

## Bonan Nokton ( *el Vintra Vojaĝo* 冬の旅1おやすみ )

poez. Wilhelm Müller, muz. Franz Schubert, trad. Kelonio

- |  |  |
|--|--|
| <p>1) Fremdule mi alvenis, fremdule iras for.<br/>         En majo ĉiu benis min varme kun favor'.<br/>         Knabin' aludis amon,<br/>         patrino pri edziĝ'.<br/>         Nun perdis mond' elanon,<br/>         la vojon kovras neĝ'.</p>     | <p>3) Ĉu restu mi sur vojo, dum oni pelas min?<br/>         Turniĝu hunda bojo al domo de l' mastrin!<br/>         Vagadas amo via,<br/>         — Direktas ĝin Amor' —<br/>         De unu al alia —<br/>         Nur Bonan Nokton, Kor'.</p>       |
| <p>2) Ne povas mi elekti la tempon de l' vojaĝ'.<br/>         La vojo min direkti nun nigras en pejzaĝ'.<br/>         Min sekvas ombro luna,<br/>         fidela vojkunul'.<br/>         Tra blanka neĝo duna<br/>         min gvidas besta spur'.</p> | <p>4) Dum sonĝas vi, en kaŝo mi iras pro ekzil',<br/>         Ne ĝenu mia paŝo senbrua por forir'!<br/>         Mi skribas ĉe la pordo nur:<br/>         Bonan Nokton, Kor'!<br/>         Vi vidu el la vorto:<br/>         Mi amis vin el kor'!</p> |



tenejo

## ワン・ワールド・フェスティバル 2月に

2023年2月4日、5日、カンテレ扇町スクエア等とオンラインのハイブリッド方式で開催される。

KLEGも3年ぶりに現地参加。昨年は動画参加(参照:<http://www.kleg.org/>)、今年是不参加だった。

## 京都の例会に外国人3人参加

10月26日(水)、京都エスペラント会の例会に3人の外国人が参加した。それぞれ別々に、京都エスペラント会への接触があったので、同じ日になったのはほぼ偶然。Mathew Earlyさん(アメリカ人、学生) Guilhem Sarpouletさん(フランス人、学生) Francesco Maurelliさん(ドイツ在住イタリア人、ロボット工学者)の3人。Mathewさんはスタンフォード大学と同志社大学の交換留学生として、2か月京都に滞在する。Francescoさんは学会に出席するため京都に来た。順番に自己紹介するだけでも時間がかかったが、それぞれが自分とエスペラントとのかかわりやコロナ禍のことを話して、にぎやかな会合になった。

[←相川 節子]



左からギエム、3人おいてマシュー、フランチェスコ

## 第57回高槻エスペラント展開催

10月27日から29日まで、市の生涯学習センターで市政80周年記念イベントの一環として開催。広くエスペラントを知ってもらおう展示をした。[←浮田 政治]

## 宇治城陽エスペラント会遠足など

10月23日(日)宇治城陽エスペラント会が遠足。目的地は宇治市内のウトロ平和祈念館で、5人が参加した。ウトロ地区は第二次世界大戦後に在日コリアン約80世帯が住んでいて、土地明け渡しの裁判 La Movado 862

があったところ。裁判では住民が敗訴したが、市民団体や韓国政府の支援で土地を買い取り、現在は市営住宅がたっている。この地の歴史を残そうと、今年4月に祈念館が建てられたが、その準備中には、祈念館で展示するための資料を預かっていた民家が放火されるという事件もあった。参加者は田川明子館長から展示物の説明を聞いて見学したあと、足を延ばして火事の焼け跡も訪れた。

新年会は2023年1月9日(月・祝)13時半～16時半、南宇治コミュニティセンターの予定。

[←相川 節子]

## 10月の土曜エスペラント会

オンラインで8日に開催。出席11人(内、海外から2人)。発表されたテーマは「2006年フロレンス世界大会後のひとり旅」、「私のコロナ感染個人体験」、「葉書」、「カーリーシュ、私の学生時代の町」、「我が家のサッシ(窓枠)交換」、「石、小石、砂と水:優先順位の重要性」。

[←山川 修一]

## 名古屋、ワールド・コラボ・フェスタ参加

10月22日(土)～23日(日)名古屋エスペラントセンターは同フェスタに参加しブースを出展。3年ぶりの現地開催で100人近くの市民へ広報、交流した。

## ザメンホフ祭の予定

### 近江、京都、宇治城陽、枚方

11月27日(日)13時半～16時半、京都エスペラント会館。リモート講演 堀泰雄さん: 自著『1930年代を生きた エスペランチストたち』について。ほかに本の紹介、各ロンド出し物。参加費300円。

### 神戸・はりま

12月10日(土)13時～17時、兵庫県立播磨生活創造センター(JR加古川駅南徒歩5分)。

### 大阪・堺・富田林・奈良・和歌山

12月11日(日)13時半～16時半、堺市総合福祉会館第3会議室(南海高野線堺東駅700m)。

### 池田・茨木・吹田・高槻・豊中

12月18日(日)13時～17時、池田中央公民館。内容:「ウクライナ支援、言語から」、狂言「九十九夜(つくもよ)」(小書:雪夜)。参加費無料(家族も)。

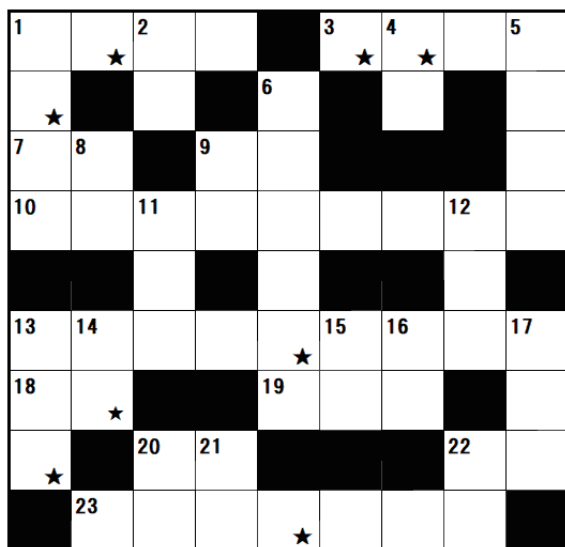
# Vortkruca enigmo

TAHIRA Minoru

Vicigu adekvate 8 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun stelo. Tiam vi akiros la agon tranĉi aŭ kudri malsanajn aŭ vunditajn areojn.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de decembro, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retpoŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.



**Horizontale:** 1. Mi ~is, ke li ja vivas. (x) 3. Rigardu la tuton, ne la ~on. (x) 7. Mi pensas, ~ vi eraras. (x) 9. ~, kion ni faru? (x) 10. La ~o provis fari tempomaŝinon. (x) 13. Vi mortigis multajn homojn. Ĉu vi ne havas ~on? (x) 18. Ĉu mi ~u al Afriko aŭ Sudameriko? (x) 19. Mi ~ volas fari miraklon. (x) 20. Fine, la faktoj evidentiĝas per ~ mem. (x) 22. Kato estas pli granda ~ muso. (x) 23. Progreso en ~o revivigis lin. (x)

**Vertikale:** 1. La viruso ne havas ~on. (x) 2. ~, mi ~ volas manĝi kun vi. (x) 4. Mi ~as vin. (x) 5. Sinjorino, ĉu vi ~as min? (x) 6. Li reakiris ~on el komato. (x) 8. amik~o (x) 9. La potenco ~ amo kreas miraklon. (x) 11. Iu amas ~? Kiu amas kiun? 12. La ~o brilis sur

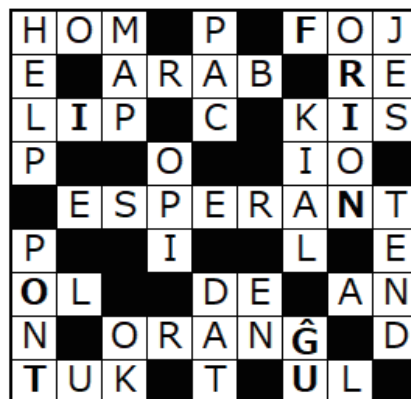
la ĉielo. (x) 13. ~ estas tio? Ĉu ĝi estas birdo? Ĉu ĝi estas aviadilo? Ne, ĝi estas NIFO\*. (x) 14. ~a medalo, arĝenta medalo, bronza medalo (x) 15. ~ en la mondo (x) 16. ~ mia kajero (x) 17. La ~o de disvastigo de Esperanto estas, unuvorte, mondpaco. (x) 20. “~ vi estus nia filino...” “Feliĉe, mi estas mi, neniam via filino.” (x) 21. ~o = infano (x) 22. Tri estas du~o de ses.

\*NIFO: Ne Identigita Fluganta Objekto.

## La solvo al la oktobra enigmo: RIFUĜINTO

La ĝustan solvon donis 11 legantoj:

CA,  
濱田 國貞、  
TADA,  
Sayuri,  
Grebo,  
島津 泰子、  
本田 照美、  
にし のりこ、  
松川 まきこ、  
水渡 篤子、  
武藤 たつこ



### 楽しい作文教室 (136) 成績

11人の方から応募がありました。( )内は留意事項です。

うん、良いね: Lumo, josie, Ivajo.

良いね: Jasuko, CA, Celejo(③要目的語), はるちゃん(③主語 ④テーマは?), Haveno(①主動詞2個), Drako(① turnirejo ③ turnirejo), Eiko(③ negocio), 組曲(③要主動詞 ④ preparita).

**kultura heredaĵo**  
tradukita al Esperanto

金槐和歌集より El la Utaaro Kinkai  
tradukis SIMATANI Takesi

大海の 磯もとどろに よする浪 われて砕けて 裂けて散るかも (源実朝)	De Oceano al bordo tondre, ŝpruce alvenas ondoj. Rompiĝas, frakasiĝas, kaj krevas akvo gute. (Minamoto no Sanetomo)
---	--



## Mikspoto (当欄は敬称略)

★『Car Graphic』誌 11月号に「FCEV で日本縦断は可能か？」と題して、水素燃料電池車で日本縦断した So Gilsu (韓国) にインタビュー。エスペラントが役立ったと。 [←後藤 斉]

★ 10月10日付『上毛新聞』に、「エスペラント語で世界中の人たちと交流 1930年代を生きたエスペランチストたち」と題して、「世界共通語「エスペラント語」の普及に力を注ぐ〜中略〜堀泰雄さん(79)が、『島崎敏一・国際文通物語 1930年代を生きたエスペランチストたち』を出版した」と。11月1日付『しんぶん赤旗』にも紹介記事。 [←堀 泰雄]

★ 大阪大学がエスペラント語で非常勤講師を公募。職務内容は、「エスペラント語に関する授業(原則、1科目1回90分授業を半期15回)」。締切済み。

★ 11月12日(土)、国際基督教大学アジア文化研究所がシンポジウムを開催する。東北大学名誉教授、仙台エスペラント会会長の後藤斉が「日本におけるエスペラント受容 ―いくつかの事例をとりあげて―」と題して講演。その後、主催者の園山千里が『女の運命』(東亜堂、1914年)を紹介する。この本は、Eliza Orzeszkowa 原作の“Marta”を、Zamenhof のエスペラント訳を介して彦坂本輔が日本語訳したもの。 [←北川 郁子]

★ 10月16日(日) 新渡戸稲造博士命日祭実行委

### 楽しい作文教室 2月号課題(12月20日締切)

- ①需要増や円安で物価が高騰した影響だろうか?
- ②工事予算が合ってなかったのかも知れない。
- ③近くに別の橋は見当たらないし誰もいない。
- ④川の中を歩いて向こう岸へ行けないだろうか。

(ヒント) 前回の続きです。需要 *postulado*、物価高騰 *prezaltiĝo*、*malforta*、*alia* を調べましょう。

日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。

送付先:

[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛

[電子メール] [c\\_tak@esperanto.ne.jp](mailto:c_tak@esperanto.ne.jp)  
(件名に「作文」の文字を入れてください)

添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

員会は盛岡市で命日祭を開催し、藤井茂理事長と、宮沢賢治の弟・清六氏を祖父に持つ宮沢和樹氏が記念対談。関心を持っていた国際共通語「エスペラント」などのエピソードが紹介された。 [←後藤 斉]

★ 10月11日(火) 百合ゲーム専門サイト「ゆりりかる」に、『ことのはアムリラート』評価・レビュー | エスペラントで紡ぐ百合ストーリー」と題し、「気軽に触れるエスペラント語」というゲームレビューが掲載された。 [←後藤 斉]

★ 10月25日付『中日新聞』「この人」欄に「核兵器廃絶の署名活動を原爆ドーム前で続ける忍岡妙子さん」。エスペラントには言及していないが「ヒバクシャ国際署名」に参加して、ひとりで11万人分の署名を集めた。 [←伊藤 純子]

★ 岩波のPR誌『図書』11月号に小川五郎(筆名・高杉一郎)の孫の田中友子の回想文。 [←濱田 國貞]

### 東北エスペラント連盟 (NOEL) 連絡先

11月5日、第62回東北エスペラント大会開催中に行われた総会で代表者と連絡先を変更した。

代表者 後藤 斉 (仙台エスペラント会会長)

連絡先 〒980-8799 仙台中央郵便局私書箱120号  
仙台エスペラント会気付

メール [shinjiro.imaizumi@gmail.com](mailto:shinjiro.imaizumi@gmail.com) (今泉久典)

### Kurantaj Vortoj

明晰夢 *lucida sonĝo*

イカゲーム *kalmarludo*

静かな引退 *silenta demisio*

ティルトウイングドローン *droneo kun baskulaj aloj*  
(*droneo*: *tele-stirata aviadileto*)

### KLEG 事務局だより

★本誌は何月からでも購読開始できますが、12月は多くの方が購読料や個人会費の更新時期にあっています。宛名シールに有効期限を記載していますので、該当する方は更新をよろしく願います。

★関西各地のザメンホフ祭では、エスペラント書籍やCDの販売を行います。確実に購入したい方は、事前に書籍のタイトルを事務局までご連絡ください。

★また、ザメンホフ祭の会場では、UEAやJEIの会費等も取り次ぎますので、ご利用ください。

## Indekso de La Movado 2022

数字は1月号(851号)～12月号(862)号を示す

\*印は tute en Esperanto

### 関西大会

第70回関西エスペラント大会(案内)とじ込み	4
第70回関西エスペラント大会へのお誘い	田熊健二 5
第70回関西エスペラント大会直前情報!	田熊健二 6
コロナ禍に負けず第70回関西エスペラント大会実施	8
思い出の歌を Gaja Vespero で	吉井滋子 8
関西エスペラント大会参加記	土居智江子 8
KLEG 奨学金をいただいて	野田淳子 8
KLEG 賞 Gajninte la KLEG-premion*	
	Morikawa Kazunori 8
Saluto al la 70a Kongreso en Kansajo*	

Kitagawa Ikuko 9

はりま、関西大会実行委員会立ち上げ	11
2023年の関西大会は姫路城のほとりで	12

### 中国四国大会

第21回中国・四国大会(案内)	10,11
-----------------	-------

### 九州大会

第94回九州大会(案内)	10,11
--------------	-------

### 日本大会

第109回日本エスペラント大会(案内)とじ込み	5
第109回日本エスペラント大会で会いましょう	
	犬丸文雄 7
第109回日本エスペラント大会(案内)とじ込み	7
第109回日本エスペラント大会 ふたたびハイブリッド方式で行われる	11

アジア・オセアニア大会(案内)	西永篤史 9
-----------------	--------

### 世界大会

第107回世界エスペラント大会へ行ってきました	
	南波文晴 10
忍岡妙子さんが出口王仁三郎賞受賞	10
Montrealo, ĉi-jara UK-urbo kun mallonga kaj longa historio*	
	Maria Lourdes Martinez kaj Thomas Kleemann 11

### 合宿

ハケ岳エスペラント集中学習	3
La 3a Vintra Lernejo 3月に	11
第3回 Vintra Lernejo のお知らせ	12

### 国内外での活動報告

野田淳子さんにインタビュー	1
Skize pri nia Esperanto-Movado en 2021	2
吹田でふれあい講演会	1

2022.12

宮崎エスペラント会の近況	1
富田林で展示	1
中四国連盟のオンラインミーティング	1
源氏物語ミュージアムにエスペラント版寄贈	1
ザメンホフ祭報告(神戸、堺、豊中、京都、福井、名古屋)	2
瑛九展でエスペラント講習会	2
3月に姫路でフェスティバル	2
ラジオ体操第一 翻訳 豊中	2
ロンドの近況:岡山、広島、京都、神戸、宇治城陽	3
/中四国連盟、吹田4/神戸5/広島6,11	
コロナ下の例会運営の一例 京都エスペラント会水曜クラス	4
京都で入門講座	4
「中四国だより」1000号に	4
スマホのグループチャットで例会を	津田昌夫 5
EPA 早春エスペラント研修会に65人	5
スプリングフェスティバルに参加(はりま)	5
Esperanto 相撲参加者のウクライナ情報と神戸の高校生の声	田渕八洲雄 6
2021年度 KLEG 活動報告	7
会員高齢化とロンドの最適化(1)(2)	佐野寛 7,8
第71回関東エスペラント大会(案内)	7
土曜エスペラント会	7-10,12
近江エスペラント会総会	7
「中四国だより」より	8
京都エスペラント会入門講座	7
KER 試験札幌開催	7
「いま世界では、北海道のエスペラント運動にできること」を9月19日に開催	9
第41回日中学生会議キックオフイベント	9
奈良エスペラント会学習会	9
「中四国だより」1000号を記念して	小阪清行 10
ザメンホフ祭の予定(神戸・はりま、大阪・堺・富田林・和歌山、池田・茨木・吹田・高槻・豊中)	10
ザメンホフ祭の予定(近江・京都・宇治城陽・枚方、神戸・はりま、大阪・堺・富田林・奈良・和歌山、池田・茨木・吹田・高槻・豊中)	11,12
京都の例会に外国人の訪問	10,12
吹田エスペラントふれあい講演会	11
京都エスペラント会の例会に外国人3人参加	12

### Kajero Libervola\*

Venkis princino Mako/ Heredanto de la tennoa trono	Anonimulo 1,3
--	---------------

Venĝo ĉene daŭros kaj ne ĉesiĝos/ Venki handikapon per espero/ Kompreno kaj toleremo al malsameco/ Ne postlasi eĉ unu lernanton

Kitagawa Syozi 2,4,6,8

Mi estas pianagordisto/ Mi estas kristano/ Mi bindas, malbindas, rebindas/ Mi ne sufiĉe kapablas aŭdi

Tadaŝi Jamada 5,7,9,11

La memoro pri vojaĝo al Rusio antaŭ pli ol 40jaroj

Muto Tacuko 10

Pri Yahoo-Ĉiebukuro  
**エッセイ**

Aikawa Setuko 12

Rakontetoj el Hamburgo\*(4)(5)(6)(7)

Mariko Aoshima 1,5,8,11

Pandemio en nova stadio\*

Aikawa Setuko 1

私の研究テーマとエスペラント

寺島俊穂 3

Rememoro Antaŭ Duonjarcento -pri "La Movado"-\*

Sibayama Zyun'iti 4

Mi spertis infektiĝon de KOVIM-19 (対訳)

田中一喜 5

## Salono

La Movado851 号の感想など

藤井浩 2

エスペラント版仏教聖典について

山口真一 4

Okazas milito en Ukrainio\*

4

La libro,kiun vi volas legi \*

Takemori Hirotoŝi 7

Pri la teksto de "Kanto de la kvar sezonoj"\*

Aikawa Setuko 9

書籍で見つけたエスペラント文

竹森浩俊 11

## 書評・図書

Japanaj eldonadoj en 2021\* Somekawa Takatosi 3

『エロシェンコのシベリアものがたり』 覚書

染川隆俊 4

やさしい本の紹介 (2) (3) (4)

編集部 4,9,12

「ロシアのウクライナ侵攻、世界の声」

5

書評 La malamiko de Putin

伊藤俊彦 6

出版情報「萌える若草」

8

書評 La fera birdo

津田昌夫 10

恵那学習会が「Ni vivos!」の2言語版を発行

斎木彰 10

書評 対訳 MI VIVOS!

渡辺克義 11

書評 Zamenhof's Yiddish Grammar...渡辺克義 12

## 文芸

対訳：源氏物語 21 帖 少女(をとめ) belmonto 1-2

対訳：源氏物語 45 帖 橋姫(はしひめ) belmonto 3-12

対訳：日本昔話 三枚のお札(小僧と山姥) / 鶴の恩

返し / おむすびころりん / 花咲爺 / ウグイスの里 / ござとり爺さん / 牛飼いと山姥 / 浦島太郎 / 一寸法師 / 白狐葛の葉 / 舌切り雀 / 天福地福

Simatani Takesi 1-12

対訳：新作狂言 九十九夜

Simatani Takesi 6

対訳：紺屋のおろく

Simatani Takesi 7

対訳：小倉百人一首・金槐和歌集

Simatani Takesi 9-12

**歌** (訳詞)

Mi estas Pomo (りんごのひとりごと) / Bolero (ボ

レロ) / Por Eliza (エリーゼのために) / Avo Floro

(花さかじじい) / Al vi eksteren (でんでらりゅう

ば) / Lando de Espero kaj Gloro( 威風堂々) /

Ne jam mortis Ukrainio( ウクライナは滅びず) /

Balzamia Floro( ていんぐさぬ花) / Surherbeje

la viburno ruĝa( 草原の赤いカーリーナ) / Festo de

vilaĝo (村祭) / Ruĝa Ĉapo, Blanka Ĉapo (赤い

帽子白い帽子) / Bonan Nokton(冬の旅 1 おやすみ)

Simatani Takesi ほか 1-12

## Vidis eksciiis sentis\*

Tigroj gardas templon Kuramadera red. 1

Floro de te-arbo red. 2

Ŝoseo tra Azio vorticelo 4

Monumento pri Sinran red. 4

Muzeo por Paco kaj Memoro de Utoro red. 7

La stacidomo "JamatoSaidaiji" Takemori Hirotoŝi 9

Gubernia limo sur fervoja kajo red. 10

## 学習

楽しい作文教室 塚本猛 1-12

初心者のための語尾なし単語の使い方 相川節子 1-5

Stereogramo \* Simatani Takesi 10

**Kurantaj Vortoj** 1-12

## 訃報・追悼

小野忠人さん 希望の Laga Sono が今日もまた：吉井

滋子 / 長浜エスペラント会誕生秘話など：小林きよ 3

訃報：青山徹さん 5

大先輩青山徹さんを悼む 佐藤守男 6

訃報：小西ちよさん / 佐々木辰夫さん 6

## Vortkruca enigmo

Takemori Hirotoŝi 1,3,5,7,9,11

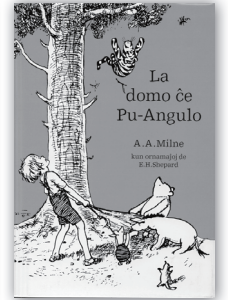
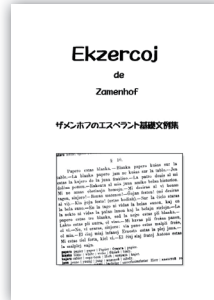
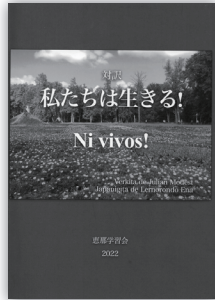
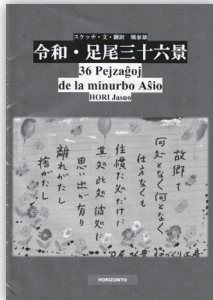
Tahira Minoru 2,4,6,8,10,12

**Mikspoto** 1-12

**年間索引** 12

**KLEG 事務局だより・後援会** 1-12

**図書広告・編集ノート** 1-12



★ 新刊・新着 ★

**令和・足尾三十六景** 800円  
堀泰雄著。富国強兵策を支えた足尾銅山。産業遺産がかつての繁栄を伝える。スケッチと文で足尾の過去・現在・未来をたどる。A4判、48p.

**Esperanto por mi 5** 500円  
画家ヘルガが描いた、野田淳子、間宮緑、Michela Lipari、Claude Nourmontらエスペランティストの肖像と本人のエッセー。A4判、16p.

**対訳 私たちは生きる! Ni vivos!** 1000円  
トレ布林カ強制収容所で犠牲となったリディア・ザメンホフを描いたユリアン・モデスト“Ni vivos!”を恵那学習会が翻訳。A5判、141p.

★ ザメンホフに親しむ ★

**Fundamento de Esperanto** 2700円  
「エスペラントの基礎」5か国語版+解題、解説。

**Ekzercoj de Zamenhof** 300円  
エスペラント基本文例集。ザメンホフの“Ekzercoj”と“La Feino”を初心者のために再編集。

**Esenco kaj estonteco de la ideo de lingvo internacia** 600円

ザメンホフによるエスペラントの原点を示す論文。

**国際共通語の思想** 1650円  
水野義明編訳。ザメンホフの主要論文と大会演説を収録。

★ 絵本をたのしむ ★

**La domo ĉe Pu-Angulo** 3100円  
ミルン『プー横丁にたった家』。おなじみ『クマのプーさん』の続編。シェパードによるさし絵も収めた美しい豪華本。A5判、184p.

**Winnie-La-Pu** 1700円  
ミルン『クマのプーさん』。クリストファー・ロビンとプーやコブタら仲よしの動物たちが森を舞台に繰りひろげる愉快な冒険。

**Flugoranĝo rakontas** 1700円  
平和学者ガルトウングがやさしい言葉で人間社会の課題を語る寓話絵本。

★ Julian Modest の作品 ★

**Atenco** 1500円

**La aventuroj de Jombor kaj Miki** 1000円

**Avertu pri murdo** 1300円

**Ĉasisto de sonĝoj** 1400円

**La fera birdo** 1300円

**Maja pluvo** 1600円

**Ne forgesu mian voĉon** 1300円

**Sekreta taglibro** 1500円

**Tra la padoj de la vivo** 1400円

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

編集ノート



★『冬の旅』(Winterreise)は、ヴィルヘルム・ミュラーの詩集によりフランツ・シューベルトが1827年に作曲した連作歌曲集。「菩提樹」が有名。  
★本誌の編集を手伝っています。アドビ社製のインデザインというソフトで版組みしているのですが、機能が多すぎて戸惑ってばかり。(みやもと)

編集部宛連絡・投稿は<lamovado@gmail.com>へ

発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：染川隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曽根東町1-11-46-204  
電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.org  
振替口座 00960-1-60436「一般社団法人 関西エスペラント連盟」ホームページ：http://www.kleg.org  
九州支局：九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話(0957)43-4352  
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町櫛木字観音面14-1 木谷奉子方 電話(088)688-1098